

# MACOVA

MULTIDISCIPLINARY ADVANCED  
COURSE ON VENOUS ACCESS

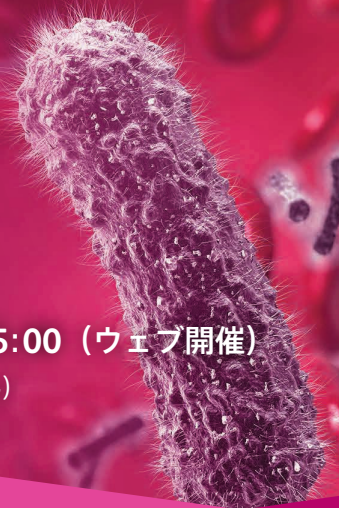
## 2021年ウェビナーシリーズ

第1部：感染制御



2021年3月28日(日)13:00~15:00 (ウェブ開催)

使用言語：英語 (通訳はございません)



司会

“ Chinhak Chun  
(M.D.)

現在、韓国・仁川にある **Sejong Mediplex Hospital** の **Quality Improvement and Patient Safety Bureau** 所長。同病院の **Center for Infectious Diseases** のセンター長を兼任されており、多剤耐性菌、中心ライン関連血流感染、抗菌薬適正使用といった医療関連感染の管理に関する調査や施策実施など、感染症予防・管理プログラムを牽引されています。2018年まで米国マサチューセッツ州の複数の病院で、医療スタッフ長、医学部長、pharmacy and therapeutics committee と infections control committee の議長を歴任されました。

“ Victor Lange  
(Ph.D., J.D., M.S.P.H., M.S., I.C.P., C.R.C.)

経験豊富な開業医であると同時に教育者でもあるLange先生は、20年以上にわたって医療機関のInfection Prevention/Control and Epidemiologyの部長を務められています。病院疫学に関するさまざまなテーマについて論文を執筆されており、数多くの国内および海外の医療関連学会で研究結果を発表されています。現在、**米国カリフォルニア州**にある**AHMC Healthcare**の**Quality/Risk Management/Infection Prevention and Control**部長。



スピーカー



スピーカー

“ Itaru Nakamura  
(M.D.)

院内感染の予防と対策、臨床感染症管理の専門医であり、現在、**東京医科大学病院**、**感染症科医局長**を務められています。同大学感染制御部の**准教授**でもあり、医学生と病院スタッフに対する感染予防教育を牽引されています。

“ Gregory J. Schears  
(M.D., B.S.)

現在、米国ミネソタ州ロチェスターにある**Mayo Clinic**の**ECMO Services**医療部長。また同病院のNurse PICC Teamの調整担当医師、Department of Anesthesiology and Perioperative Medicine 医長、Division of Pediatric Critical Care MedicineおよびDepartment of Pediatric and Adolescent Medicine医長(兼任)、Cardiovascular Pediatric Surgical ICU医療副部長を務められています。2011年からは**Mayo Clinic College of Medicine and Science**の**麻酔学教授**。



パネリスト

# 中心ライン関連血流感染 (CLABSI) の影響と 継続的品質改善 (CQI) の有用性



【参加方法】 GlobalMeet®での視聴になります。  
本セミナーは**事前登録制**となっております。  
下記URLもしくはQRコードより、ご登録をお願い致します。

申込URL <http://qr.w69b.com/g/nA1S3ANry>



登録用QRコード

## ● スケジュール

10分	<b>イントロダクション</b> Jayant Giri, M.D. : BD Clinical Service <b>スピーカーおよびパネリストの紹介</b> Chinhak Chun, M.D. : Sejong Mediplex Hospital (韓国・仁川) Quality Improvement and Patient Safety Bureau 所長
30分	<b>米国におけるCLABSIの経済的影響と臨床的影響 — 継続的品質改善に関する強力な国内監視システムの利用</b> Victor Lange, Ph.D., J.D., M.S.P.H., M.S., I.C.P., C.R.C. AHMC Healthcare (米国カリフォルニア州) Quality / Risk Management / Infection Prevention and Control 部長
30分	<b>日本におけるCLABSIの経済的影響と臨床的影響 — 強力な国内監視システムがない状況を打開する挑戦</b> 中村 造, M.D. : 東京医科大学病院 (日本) 感染制御部准教授、感染症科医局長
45分	<b>1. 質疑応答</b> <b>2. CLABSIおよび継続的品質改善のためのエコシステムに関するパネルディスカッション</b> 司会 : Chinhak Chun, M.D. パネリスト : <b>Victor Lange, Ph.D., M.S.P.H., M.S., I.C.P., C.R.C.</b> AHMC Healthcare (米国カリフォルニア州) Quality / Risk Management / Infection Prevention and Control 部長 <b>中村 造, M.D.</b> 東京医科大学病院 (日本) 感染制御部准教授、感染症科医局長 <b>Gregory J. Schears, M.D, B.S.</b> Mayo Clinic (米国ミネソタ州ロチェスター) 教授、ECMO Services 医療部長
5分	<b>閉会のあいさつ</b> Jayant Giri, M. D. : BD Clinical Service

MACOVA 2021ウェビナーシリーズがお届けするさらに興味深いトピックをお楽しみに！